

株主の皆様へ



代表取締役社長

黒田 浩史

■ごあいさつ

株主の皆様には、格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社第74期中間期(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)の事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年12月

■当中間期の概況

当第2四半期連結累計期間における事業環境は、半導体、液晶、ロボット、自動車、家電、工作機械等幅広い分野で高水準の状況が続き、当社グループの受注高は8,890百万円(前年同期比2,557百万円、40.4%増)と大幅な増加となりました。売上高は7,776百万円(前年同期比1,207百万円、18.4%増)と受注高の増加には及ばなかったものの増収となりました。

利益面に関しては、単体ならびに米国及び中国を中心とした海外子会社の売上が増加したことも寄与し、営業

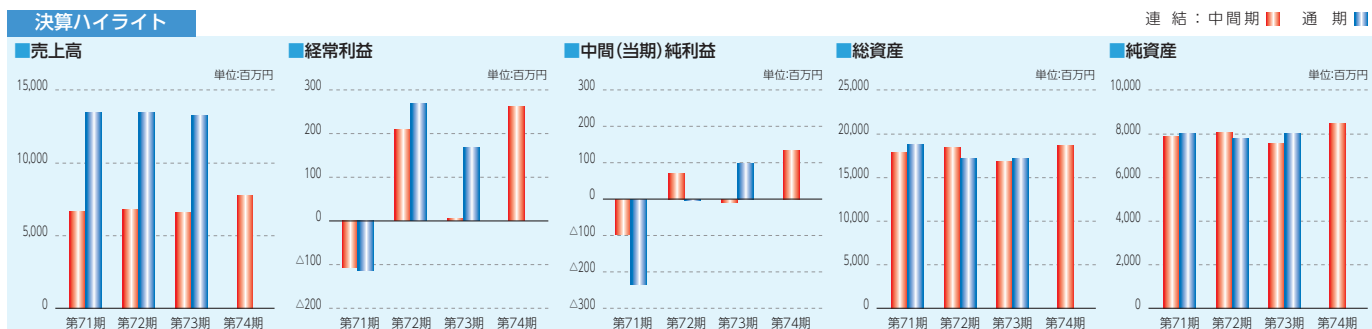
利益は、246百万円(前年同期比191百万円、349.8%増)、経常利益は262百万円(前年同期比256百万円増)、親会社株主に帰属する四半期純利益134百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失10百万円)と、前年同期に比べ大幅な改善となりました。

■通期の見通し

当社グループの通期の連結業績は、上期の実績を反映し、売上高15,900百万円、営業利益410百万円、経常利益410百万円、親会社株主に帰属する当期純利益240百万円と予想しております。

期末配当予想につきましては、現時点での業績見込みから総合的に判断し、1株当たり12円50銭(株式併合を実施する前は、1株当たり2円50銭)とさせていただきます。

今後、駆動システムの増産の早期実現、海外で量産立上中のモーターコア関連プロジェクトの業績への早期貢献、機工・計測システム事業の富津集約による開発・生産効率の向上とシナジーの実現等を通じて、業績の一層の発展に努めて参ります。株主の皆様には何卒ご理解ご支援のほどよろしくお願い致します。



## ■ 駆動システム

当セグメントでは、主要市場である半導体・液晶関連分野を中心に高水準な受注が継続し、受注高は4,857百万円（前年同期比2,020百万円、71.2%増）と大幅に増加しました。生産体制増強に努めた結果、受注高の増加には及ばないものの、売上高は3,591百万円（前年同期比721百万円、25.1%増）となり、営業利益は284百万円（前年同期比185百万円、187.1%増）と大幅な増収増益となりました。

売上高 **3,591** 百万円

## ■ 金型システム

当セグメントでは、車載モーター向けに加え、産業用モーター向け等の受注も順調に推移し、受注高は1,893百万円（前年同期比303百万円、19.1%増）、売上高は2,114百万円（前年同期比411百万円、24.2%増）となりました。一方、利益面では、マレーシア子会社の新規取引に関連するコストが先行したこと等の影響により、営業損失27百万円（前年同期は営業損失27百万円）となりました。

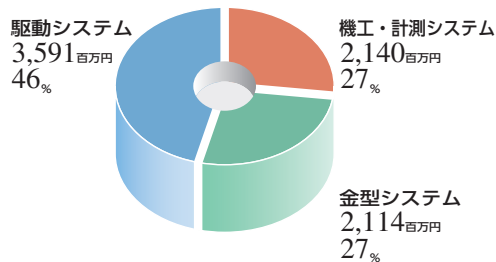
売上高 **2,114** 百万円

## ■ 機工・計測システム

当セグメントでは、主力の工作機械の受注が好調に推移し受注高は2,209百万円（前年同期比248百万円、12.7%増）となったものの、英国連結子会社の減収の影響もあり、売上高は2,140百万円（前年同期比89百万円、4.4%増）、営業利益3百万円（前年同期比47百万円、92.4%減）となりました。

売上高 **2,140** 百万円

### セグメント別売上構成比



各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

## ■ 工作機械新商品のご紹介

CNC超精密ハイレシプロ成形研削盤「FGX-1」の量産機第一号が、このたび精密金型メーカーに採用されました。JIMTOF2014に参考出品してから今回の採用に至る過程で多くのお客様の声を積極的に取り込み、幅広い要求に応えられる機能と高い水準の環境性能を実現して完成したものです。主な特長として、新開発のショックレス機構内蔵ハイレシプロテーブルにより、反転時の制振と10～100mmの可変長移動量でMax1,000反転/minの高速動作を実現し、高効率加工を可能にしました。また、低熱膨張性合金の主軸に独自の冷却システム付ビルトインモータを採用することで高速回転時の振動を抑制するとともに、上下送り軸にJIS規格C1級自社製ボールねじと高剛性リニアローラーガイドを採用し、高品位な研削面と極めて高い精度での加工を実現しました。加えて、省エネルギー・省スペース性に優れた機械となっています。今回の初受注を契機に、今後本商品を精密金型・精密部品加工分野に積極的に拡販していく予定です。



CNC超精密ハイレシプロ成形研削盤「FGX-1」

## ■ MOTEKに出展

10月9日～12日、ドイツのシュトゥットガルトで第37回MOTEKが開催されました。MOTEKは、自動化機器に関するドイツでも有数の展示会です。その展示会に、今年初めて“Kuroda Jena Tec”ブランドでブースを出し、当社グループの駆動システム商品を展示しました。この展示会に合わせて「DIN対応Aシリーズ」を全世界で発売しました。日本とドイツの技術力を結集した「DIN対応Aシリーズ」は、当社の新製品であるサイドデフレクタ方式のボールねじ（Aシリーズ）をドイツ工業規格（DIN規格）に合わせた商品です。今後も日独技術のシナジーを追求し、全世界のお客様へ最適なソリューションを提供してまいります。



MOTEKの様子

## ■ KURODA JENA TEC INC. の新拠点紹介

このたび、米国現地法人「KURODA JENA TEC INC.」(KJTI)の拠点の統合再整備を実施しました。これまでKJTIは、カリフォルニア州のSan Jose、ジョージア州のWoodstock、ミシガン州のTroyの3拠点ありました。KJTIの業績拡大に伴いWoodstockの物流拠点が手狭になってきたことから、近郊のKennesawにあるより大きな施設に移転するとともに、Troyの物流機能を統合集約しロジスティクスおよび管理の効率化を図ることとしたものです。新施設は、物流機能に加えて事務所機能もより強化され、米国における販売および物流の中核拠点として今後のKJTIの発展を支えてくれることが期待されます。



新拠点Kennesawと現地スタッフ

## ■ 工作機械事業の富津への移転

機工・計測システム事業の構造改革の一環として、工作機械事業の長野工場から富津工場への移転を行いました。新工場は従来よりもスペースが広く、空調を含めた環境も整備され、今後の増産や生産効率の向上に大きな効果を生むことが期待されます。さらに、この移転に伴い機工・計測システム事業の製造および技術陣が全員富津に集結することとなり、加工から計測まで幅広い要素技術を融合したソリューションの開発を事業部のビジョンに沿って加速することが可能になります。なお工作機械事業移転後の長野工場においては、そのスペースを活用して金型事業の更なる強化拡大を図る計画です。



新工場外観

新工場内部

# 四半期連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前 期 末 平成29年3月31日現在	当第2四半期末 平成29年9月30日現在
<b>(資産の部)</b>		
流 動 資 産	<b>8,035</b>	<b>9,333</b>
固 定 資 産	<b>9,128</b>	<b>9,341</b>
有 形 固 定 資 産	5,368	5,517
無 形 固 定 資 産	1,285	1,335
投 資 そ の 他 の 資 産	2,473	2,488
資 産 合 計	<b>17,164</b>	<b>18,675</b>
<b>(負債の部)</b>		
流 動 負 債	<b>4,895</b>	<b>6,041</b>
固 定 負 債	<b>4,289</b>	<b>4,170</b>
負 債 合 計	<b>9,185</b>	<b>10,211</b>
<b>(純資産の部)</b>		
株 主 資 本	<b>6,067</b>	<b>6,155</b>
資 本 金	1,875	1,875
資 本 剰 余 金	1,451	1,451
利 益 剰 余 金	2,749	2,837
自 己 株 式	△8	△8
その他の包括利益累計額	<b>1,794</b>	<b>2,137</b>
その他有価証券評価差額金	698	907
土 地 再 評 価 差 額 金	821	814
為 替 換 算 調 整 勘 定	199	348
退職給付に係る調整累計額	74	67
非支配株主持分	<b>117</b>	<b>171</b>
純 資 産 合 計	<b>7,978</b>	<b>8,464</b>
負 債 ・ 純 資 産 合 計	<b>17,164</b>	<b>18,675</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計期間 平成28年4月1日～ 平成28年9月30日	当第2四半期累計期間 平成29年4月1日～ 平成29年9月30日
売 上 高	6,569	7,776
売 上 原 価	4,960	5,795
売 上 総 利 益	1,608	1,981
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,553	1,734
営 業 利 益	<b>54</b>	<b>246</b>
営 業 外 収 益	150	130
営 業 外 費 用	198	114
経 常 利 益	<b>6</b>	<b>262</b>
特 別 利 益	0	50
特 別 損 失	0	61
税金等調整前四半期純利益	<b>7</b>	<b>252</b>
法人税、住民税及び事業税	29	131
法 人 税 等 調 整 額	△13	△1
四 半 期 純 利 益	<b>△8</b>	<b>121</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	△12
親会社株主に帰属する四半期純利益	<b>△10</b>	<b>134</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期累計期間 平成28年4月1日～ 平成28年9月30日	当第2四半期累計期間 平成29年4月1日～ 平成29年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	524	340
投資活動によるキャッシュ・フロー	△116	△136
財務活動によるキャッシュ・フロー	△389	238
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32	9
現金及び現金同等物の増減額	△13	452
現金及び現金同等物の期首残高	2,276	1,936
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,262	2,388

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## ■会社の概要

商号	黒田精工株式会社
本店	神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16
創業	1925年(大正14年)
資本金	18億75百万円
従業員数	418名

## ■連結対象会社の状況

連結子会社	持分法適用関連会社
クロダインターナショナル株式会社 クロダプレジジョンインダストリーズ(M) (マレーシア) 平湖黒田精工有限公司 (中国) 永昇電子株式会社 韓国黒田精工株式会社 KURODA JENA TEC HOLDINGS LTD. (英国) Jenaer Gewindetechnik GmbH (ドイツ) KURODA JENA TEC INC. (米国) Kuroda Jena Tec UK Ltd. (英国) 平湖黒田捷納泰克商貿有限公司 (中国) 株式会社ゲーシング	日本金型産業株式会社

## ■当社グループの主要な事業

セグメント	主要製品
駆動システム	精密研削ボールねじ、転造ボールねじ、ボールねじアクチュエータ、XYステージ、ガイド、ギア
金型システム	積層精密プレス型、精密金属プレス商品、モーターコア
機工・計測システム	保持工具、ゲージ、平面研削盤、超精密鏡面研磨装置、超精密表面形状測定装置、電子機器、コンプレッサ、スピンドル

## ■株式の状況

発行可能株式総数	74,800,000株
発行済株式の総数	28,100,000株
株主数	2,583名

## ■所有者別株式分布状況

合計 28,100,000株



## ■大株主

株主名	株式数 (千株)	持株比率 (%)
パーカー ハネフィン マニュファクチャリング ユーケー リミテッド	4,713	16.79
株式会社みずほ銀行	1,381	4.92
黒田 浩史	1,169	4.16
ファンック株式会社	984	3.50
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	983	3.50
株式会社日本政策投資銀行	857	3.05
ユーログループエスピーエー	843	3.00
株式会社横浜銀行	748	2.66
黒田精工取引先持株会	704	2.50
三井住友信託銀行株式会社	616	2.19

\* 持株比率は自己株式 (36,079株) を控除して計算しております。

## ■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	毎年3月31日
定時株主総会・期末配当	
公告方法	電子公告により、当社のホームページに掲載します。 <a href="http://www.kuroda-precision.co.jp/">http://www.kuroda-precision.co.jp/</a> ただし、やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

## 株式に関する手続きについて

○証券会社等の口座に登録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
郵便物等の発送と返戻に関するご照会	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
支払期間経過後の配当金に関するご照会	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
株式事務に関する一般的なお問合せ	TEL. 0120-782-031 (フリーダイヤル)
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

○特別口座に登録された株式

特別口座に登録されている株式につきましては、特別口座のままでは売買できません(単元未満株式を除く)。様々なお手続きを円滑に行うためにも証券会社の口座への振替申請をお願いいたします。  
株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、下記へお問合せください。

お問合せ先 0120-782-031 (フリーダイヤル)

[手続き書類のご請求方法]

・インターネットによるダウンロード <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

## 黒田精工株式会社

本社 / 〒212-8560 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16  
TEL / 044-555-3800 (代表) FAX / 044-555-3524  
<http://www.kuroda-precision.co.jp/>

